



# エクスタロット ルールブック

008 エクスラミー

ゆお

ゲーム名：エクスラミー

バージョン：v1.00

考案者（著者）：ゆお

受付日：2016年7月28日

概要：手札を早く無くすラミー系のゲーム

人数：2人～8人

使用カード：C4枚と★16-23の8枚を抜いた100枚

プレイ：最初10枚の手札を持ち、捨て札も活用しながら

順番に同じスートの連番や同じ数字3枚以上のセットを

場に出して先に手札をなくした人の勝ち

参照ルール：ラミー

-----

エクストラミー プレイ人数 2～8人

使用するカード：Cのカード4枚とタロットの16～23を抜いた、計100枚。

### 《特殊な扱いのカード》

- ・F (∞) のカード：そのスートの好きな数字 (-1～15) として扱える。
- ・タロットカード：その数字の好きなスートとして扱える。
- ・Jは11、Qは12、Kは13として扱う。

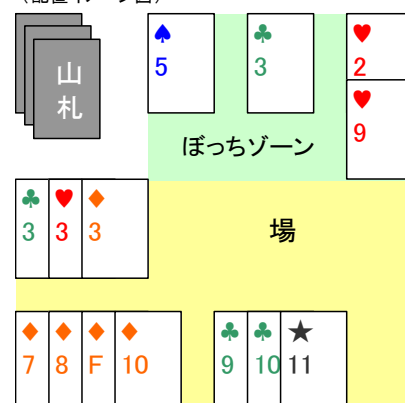
### 《プレイ準備》

- ①カードを裏向きでよく混ぜ、山札を作る。
- ②各プレイヤーにカードを **10枚** (8人プレイの場合は8枚) 配る。
- ③適当な方法で最初の手番プレイヤーを決める。

### 《プレイ手順》

- ①手番プレイヤーは山札からカードを1枚引く。
- ②セット (※後述) が作れるなら、好きなだけセットを作って場に出して良い。  
また、付け札 (※後述) ができるなら、好きなだけ付け札して良い。
- ③手札を1枚選んで、ぼっちゾーン (※後述) に置く。スート別で縦に並べて置く。
- ④左隣のプレイヤーに手番が移る。

(配置イメージ図)



### セット

以下2種類の組合せ、どちらかを場に出す行動。

- ・階段：同じスートの連番3枚以上 (例えばスペードの3・4・5、等) の組合せ。
- ・グループ：同じ数字3枚以上 (例えばクラブの7・ハートの7・ダイヤの7、等) の組合せ。ただし、グループ内のスートは全て異ならなければならない。

### 付け札

既に出来ているセットに対し、手札またはぼっちゾーンからカードを付け足す行動。セットの組合せ条件 (階段 or グループ) はもちろん守る必要がある。(例えば、スペードの5・6・7の階段セットに対し、手札からスペードの4を付け札した、等)

また、Fやタロットのカードが使われている役割の、本来のカードを持っている場合、入れ替える形でFやタロットのカードを手札に加えても良い。(例えば、ハートの9・クラブの9・タロットの9のセットが場に出ており、手札にダイヤの9を持っていたので、場札のタロットの9と手札のダイヤの9を入れ替えた、等)

### ぼっちゾーン

ぼっちゾーンのカードは、手札にあるかのように扱って良い。例えば、ぼっちゾーンにハートの9とクラブの9が置かれており、手札にタロットの9があったので、その3枚をセットにして改めて場に出す、等が出来る。同様に、ダイヤの13・14・15の階段セットが場にあり、ぼっちゾーンにダイヤの12があったので、階段に付け札した、等が出来る。

### 《ゲームの終了》

いずれかのプレイヤーが手札を0枚にした瞬間ゲームは終わり、そのプレイヤーが勝利する。

もしくは、山札が無くなった場合、その手番終了時にゲームは終わり、最も手札の少ないプレイヤーが勝利する。もし同数の場合は、より合計値の低いプレイヤーが勝利する。

### 《備考》

- ・Fのカードを含む階段セットで、Fが端の数として使われているなら、どちらの数かは確定していないと見なす。  
(10、F、12の順に並べたのならFは11で確定するが、10、11、Fとして使った場合、Fが9か12かは未確定。よって、そのスートの9か12を持っていれば、どちらでも入れ替えることが可能である)
- ・ぼっちゾーン、階段、グループで、ある程度分けてカードを置いた方が見やすい。例えば、1段目をぼっちゾーン、2段目をグループ、3段目を階段置き場にする、等。

## ルール募集

エクスタロットを使ったゲームのルールを募集しています。応募のあったルールは、エクスタロットのプレイに適しているか審査され、考案者の氏名、受付の日付とともに pdf で公開されます。考案者は、すでに掲載されたルールを修正・改良することもできます。ルールの申請方法は、エクスタロット・ゲーム情報サイト(<http://xtarot.jp/>)をご覧ください。

エクスタロットは、友達とプレイしながら、ルールを面白く改良していくことを目標にしています。そのため、ハード（カード）とソフト（ルール）を分けています。エクスタロット・ゲーム情報サイトでは、最新のルールやカードの情報を紹介しています。

## エクスラミー

著者 ゆお

2016年 8月 1日発行

発行者 有限会社銀河企画 <http://gpi.jp/>

©2016 ゆお／有限会社銀河企画